

人間よりも人間らしく
人間にはできないこともできる
人形が人間の性根を捉える!

変化へんげする人形

木偶展

顔がガブッと割れる「ガブ」など
さまざまに変化する人形を展示。
4月27日〔土〕— 5月6日〔月〕
9時30分〜17時

制作実演

人形師の繊細で丁寧な技を間近で見えます。
4月28日〔日〕— 4月29日〔月〕
5月3日〔金〕— 5月6日〔月〕
10時〜12時、13時〜15時

特別公演

かわいらしい清姫の顔。突如口が割け、
ギョロリと目を開く。頭からは二本の角が、
5月4日〔土〕15時〜16時
日高川入相花王 渡し場の段
寿二人三番叟

太夫..竹内雅代 三味線..鶴澤友輔
人形..阿波人形浄瑠璃研究会青年座

※定期公演「傾城阿波の鳴門」も併せてどうぞ。
毎日11時〜、14時〜

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

徳島市川内町宮島本浦184 Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683
<http://joruri.info/jurobe/>
[mail:awajurobeyashiki@mf.pikara.ne.jp](mailto:awajurobeyashiki@mf.pikara.ne.jp)

料金 一般410円、高・大300円、小・中200円

主催 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

協力 阿波木偶作家協会、(公財)徳島県文化振興財団

助成 財団法人地域創造、あわ文化創造支援事業



般若丸：板東米子作

変化する人形

- 主な出品作品
- 般若丸
板東 米子
 - 双面
人形由
 - 両面
人形由
脇田 薫
 - 姐己(婆頭)
人形洋
 - 姐己(ガブ)
板東 米子
人形尚
鳥井 明子
杉浦 猛
原 常雄
福井 武
福永 稔
松原 廣宣
 - 姐己(体験型)
人形伊左
 - 酒呑童子
天狗久
徳島県文化振興財団所蔵

出品／阿波木偶作家協会

木偶の制作を通じて阿波人形浄瑠璃の向上発展に積極的に寄与することを目的に、平成13年12月に発足。以来隔年で「現代の木偶展」を開催し、毎回ベテラン会員から伝承教室の受講生も含め多数の出品作品が展示されている。また徳島県文化振興財団と連携し、平成14年度から毎年阿波木偶制作教室を開催したり、平成15年度からは四国大学や徳島県立徳島工業高校へ講師を派遣し、木偶制作技術の継承に取り組むなど意欲的に活動している。この間、会員の中から吉川英治文化賞や、現代の名工認定、阿波の名工認定など、数多くの受賞者を輩出している。



日高川入相花王 渡し場の段
 大蛇に変身する清姫

恋人を連れて道成寺へ向かう安珍。安珍に恋する清姫は、月明かりの中、必死で二人を追いかけます。ようやく日高川の渡し場にたどり着く清姫ですが、船頭は川を渡してくれません。安珍は船頭に金を渡し、清姫が来ても川を渡さないように」と頼んでいたのです。清姫は悲しさのあまり泣き伏しますが、その恋しさと悲しさは、やがて怒りに変わり、清姫は恐ろしい大蛇に変身し、川へ飛び込み泳いでいくのでした。

阿波人形浄瑠璃研究会 青年座

徳島県立城北高校民芸部出身者が中心となり、昭和56年に結成。活発な活動を展開し、昭和60年「国際青年年記念功労者・内閣総理大臣賞」を受賞。8年ほど活動を休止していたが、平成11年から本格的に活動を再開。“人形浄瑠璃をより親しみのある身近で楽しいものと感じてもらうように、そして自分達も楽しむ”を座のコンセプトとし、「IWATO 三番叟」「道行三番叟あわ娘にご用心」「雪女」など、人形浄瑠璃と他ジャンルを合わせた新作にも積極的に挑戦している。また、玉井啓行代表は2008年度の「とくしま芸術文化奨励賞」を受賞。

友輔会

平成13年、故・人間国宝鶴澤友路師匠より拜命した鶴澤友輔師匠を指導者として発足。鶴澤友輔師匠は、国民文化祭・とくしま2007で瀬戸内寂聴原作の新作人形浄瑠璃「義経街道娘恋鏡」「モラエス恋遍路」の作曲・演奏を、2012年の2度目の国民文化祭では「阿波の心」の作曲と弾き語りを担当。県内外はもとより海外公演にも参加するなど精力的に活動し、平成13年に徳島県文化協会の芸術文化奨励賞を受賞。平成18年には、徳島県から阿波文化創造賞を受賞。